

Contents

Topics! 全日本大学対抗選手権大会のご案内

- 1、インカレに向けて主将抱負
- 2、日川高校インターハイ団体優勝
- 3、第58回早慶定期戦結果
- 4、夏合宿を終えて
- 5、第32回全日本マスターズ選手権大会に出場して
- 6、窪田登先生 会旗を寄贈
- 7、リレー寄稿 あの前輩はいま
- 8、競技会成績
- 9、探球会&パーベル会
- 10、オフィシャルジャンパー&タオル申込受付中



<東日本インカレ開会式の様子>

Topics!

全日本大学対抗選手権大会のご案内

◇男子インカレ

今年度のインカレ（第60回全日本大学対抗選手権大会）が下記のとおり開催されます。男子は2部で優勝と1部復帰を目指します。開催地域在住の先輩の皆様には、ぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

記

期日：平成26年11月7日（金）～9日（日）

会場：大阪府羽曳野市羽曳野コロシアム（大阪府羽曳野市南恵我之荘4-237-4）

※近鉄南大阪線「恵我ノ荘駅」駅下車徒歩15分

◇女子インカレ

女子のインカレ（第15回全日本大学対抗女子選手権大会）の開催予定は下記のとおりです。首都圏在住の皆様、応援、よろしくようお願い申し上げます。

記

期日：平成26年11月28日（金）～30日（日）

会場：さいたま市記念総合体育館（埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1）

※JR京浜東北線「浦和」駅

国際興業バス②乗り場より「桜区役所」行き乗車→桜区役所下車 徒歩1分

※JR埼京線「中浦和」駅

国際興業バス乗り場より「桜区役所」行き乗車→桜区役所下車 徒歩1分

※ 競技スケジュールの詳細は、Webサイト<<http://www9.ocn.ne.jp/~twc/>> をご確認ください。

インカレに向けて主将抱負

昨年、我々早稲田は「2部落ち」という非常に厳しい現実を受け入れなければなりません。この悔しい気持ちを胸に今年度は2部インカレに臨みます。

今年度の前半は、東インカレ3位と、立てていた目標を達成することができました。そして、もう1つの目標としているのが2部インカレでの圧倒的な優勝です。「2部インカレ圧倒的優勝」を実現し、1部昇格を果たすことが4年生の使命であり、今後の早稲田、後輩たちのためでもあるので、絶対に達成せねばなりません。インカレメンバー全員が表彰台に立ち、団体戦優勝、プラットフォーム上で「紺碧の空」を歌い、笑顔で今シーズンを終えることを日々イメージしています。

4年生にとって大学最後の試合であり、4年間の集大成となるこのインカレで、チーム一丸となり最高の力を発揮します。

先輩の皆様、会場は大阪の羽曳野ですこし遠いですが、ぜひ会場にお運びください。

ご声援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

主将 神谷勇斗（スポーツ科学部4年）

今年も団体戦優勝や1つでも上位を獲得するために、たくさんの大学がインカレに向けて準備を進めてきたことと思います。早稲田大学も部員全員が、インカレ女子団体3位を目指して岡田監督の指導の下、日々頑張ってきました。

個人個人でも、強化不足な部分や怪我の治療など、たくさんの課題を持ってこの一年努力してきました。また、私たち4年生にとっては、4年間の集大成を出し切るべき試合でもあります。

そんな様々な想いが集結するインカレという大舞台で、今年も各大学の選手達が熱い戦いを繰り広げます。その中で、早稲田大学の選手も必ず活躍します。

先輩の皆様、今年も学生達の熱い戦いをぜひ直に見にきてください。

どうぞ応援よろしくお願いいたします。

女子主将 見附絵莉（スポーツ科学部4年）

日川高校インターハイ団体優勝

今年の8月、日川高校は南関東インターハイで14年ぶり6度目の全国制覇を成し遂げることができた。私自身も高校時代、日川高校ウエイトリフティング部に所属し、昭和63年にインターハイ団体初優勝したメンバーだった。それから26年が経ち、日川高校のウエイトリフティング部監督として地元開催である南関東インターハイを迎えた。

日川高校に赴任した6年前、関東大会で優勝、しかしそれ以降、関東大会はおろか県大会でも全く勝てなくなってしまった。その時期、指導者として恩師の先生には多くのことを教えて頂いた。特に指導者に求められるものは、競技力の向上に直結する技術の指導ではなく、その基礎となる精神的な指導である。どんなにすごい記録を挙げても、いずれ記録は衰退する。そうしたとき最終的に残るものは何か。それは努力とか根性であり、これは一生残る財産でもある。決して良い記録が挙げらなくとも、社会に出てから必要となるものは、必ずしも競技成績ではなく、自らが定めた目標に粘り強く挑み続ける精神であるということである。これからも、このことを意識して選手を指導していきたいと思う。

大会では多くの早稲田大学のOBの方々に指導者として来県して頂いた。そして、ささやかながらOB会を開かせてもらった。先輩の指導者、また後輩の若き指導者とウエイトリフティングの話をする事ができた。今、長崎国体から帰ってきて、この文章を書いているが、「大会2日目の夜」を合言葉に岡田監督がOB会を開いてくれた。国体選手として、各県をリードしている選手兼指導者もいた。とても頼もしく思った。

最後に、今回このような機会を与えていただき、ありがとうございました。今後は、もっと高い目標に向けて、更なる挑戦をしていきたいと思ひます。

岡部伸二（H05卒）



第58回早慶定期戦結果

9月28日、慶應義塾大学日吉記念館において、第58回早慶ウエイトリフティング定期戦が開催されました。

62kg級の森川芳樹君（スポ1）が、C&ジャークで131kg、+94kg級の菅野真央君（社学3）が、スナッチで131kgと、それぞれ大会新記録をマークしました。

団体戦は早稲田135点：慶應90点で早稲田大学が勝利し、連勝記録を51に伸ばしました。

試合後には懇親会が行われ、両校の親睦を深めました。



第58回 早慶ウエイトリフティング定期戦

	56	62	77	85	94	+94	合計	順位
W	15	24	20	22	24	24	135	1
K	15	9	13	11	9	9	90	2



夏合宿を終えて

8月8日～13日の6日間、昨年に引き続き新潟県津南町のニュー・グリンピア津南にて、夏合宿を行いました。

今年度は全日本女子の合宿と重なってしまい、日程を短縮しての開催となりました。オフを3日目の午後と4日目の午前で実質1日設けるというナショナル合宿の形を参考にし、日程は例年よりも短かったものの、インカレに向けて凝縮した練習ができたと思います。また、昨年同様十文字女子学園の池川ゼミによる栄養管理指導もあり、選手は自分の食事についても再度考え直すことができました。

合宿前半には、十日町稲門会の幹事長の松澤晋先輩（S59卒）が練習の様子を見にきてくださいました。早稲田のOBとして私たちに援助していただき、お蔭様で合宿がより充実したものとなりました。また、松本潮霞先輩（H26卒）も3日間練習に参加していただきました。世界を相手に戦う選手と一緒に練習することで、現役部員は刺激をもらうことができたと思います。

暑すぎず寒すぎずの天候や、美味しい食事、温泉などの設備にも恵まれ、充実した合宿を行うことができました。この合宿で選手は心身ともにリフレッシュし、またインカレに向けて強くなることができたと思います。

今年度合宿にご参加・ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。

副務 高橋まどか（スポ2）



第32回全日本マスターズ選手権大会に出場して

今夏初めて全日本マスターズに参加された、昭和45年卒・谷川吉史先輩が、感想を寄せてくださいましたのでご紹介します。

8月15日、兵庫県明石市の明石市立産業交流センターにて行われた、全日本マスターズウェイトリフティング選手権大会に初出場しました。

大学卒業後3年はリフティングを続けておりましたが、その後は止めてしまい、3年ほど前から近所のジムに通うようになりだすまで、バーベルとの付き合いも40年近いブランクでした。昨年秋、山内英雄先輩（S42卒）にもすすめられ、「もう一度リフティングをやってみようか」と思い、ジムではリフティングの練習をできる環境にはないのですが、それなりのトレーニングをして本番に臨みました。

スナッチは45kgに成功、55kgは2本失敗。ジャークは65kgに成功、70kgは2本失敗、という結果でした。スナッチは、ジムでハイスナッチ40kgまではやったことがありましたが、ほとんどぶっつけ本番。成果は、スナッチの3本目、失敗はしましたが、しゃがめたこと。そして、プッシュジャークは余裕があることでした。反省点は、クリーンが弱い、体が硬いなどなど。

牧野雄児氏（S46卒）からメールでいただいた、「しゃがむことを意識すると引きが弱くなるので、引きを意識して！」というアドバイスもその通りでした。山内先輩に以前言われた、「リフティングになっていない!」、これもその通りです。当日応援観戦に来ていただいた吉田耕三先輩（S43卒）に、競技後いただいた、「軽い重量でも引き上げるコースをイメージした練習」などのアドバイスを今後のトレーニングに生かしながら、リフティングを楽しんでいきたいと感じました。



(写真：マスターズOB懇親会にて)

当日は、出場された山内英雄先輩・中田正剛先輩（S43卒）・鈴木靖二先輩（S43卒）・徳橋政實氏（S46卒）のほか、応援に駆けつけていただいた吉田耕三先輩・鈴木伊能勢先輩（S43卒／所用のため懇親会は欠席）・榎直樹氏（S45卒）・福森道雄氏（S47卒／所用のため懇親会は欠席）・野中弘一氏（H01卒）・幾島稔氏（H03卒）などのメンバーでの懇親会も大変楽しいひと時でした。

そうそう、大事なことを忘れてました。M65（65～69歳）69kg級で、徳橋氏が優勝しました。おめでとう！！

谷川吉史（S45卒）

窪田登先生 会旗を寄贈

8月、明石で全日本マスターズ選手権大会の折、窪田登先生から「OB選手と一献を！」とお申し出がありました。

残念ながら、ご都合により懇親会でお目にかかることは叶わなかったのですが、Skypeのビデオ通話でお元気なお顔を拝見しながら、お話しすることができました。その際、窪田先生から善政のお話があり、お気持ちをありがたく頂戴して、以下のような会旗を制作することになりましたので、ご報告させていただきます。

完成後は、全日本選手権や国体、社会人やマスターズなどOB/OGが出場するあらゆる大会、行事で掲げたいと思います。窪田登先生、誠にありがとうございました。



稲門ウェイトリフティングクラブ 会長 鈴木靖二（S43卒）

リレー寄稿 あの先輩はいま

私は昭和60年卒業（卒部年次は昭和59年卒）の杉崎泰弘といいます。まさか自分に原稿依頼が回ってくるとは夢にも思っておりませんでした。野中弘一幹事長から電話を受けたのが、8月18日のうだるような暑さの中、東京国際大学のウェイトリフティング場で、三宅敏博（三宅宏実の兄）ヘッドコーチと話をしている最中でした。

私は現在、埼玉県立草加南高等学校で世界史を教えています。10年前にウェイトリフティング部を創設し、現在に至っています。部員は4名しかおりませんが、アットホームで楽しく和気藹々と練習をしています。その4名の部員の中でも、3年生で69kg級の花井慶典君が、今年6月の関東高校大会で優勝し、その後の県大会では12年ぶりに県高校記録を更新しました。そして、8月のインターハイでは6位入賞を果たしてくれました。ちなみにその時の記録は、スナッチ103kg／ジャーク130kg／トータル233kgです。



（写真：8月インターハイにて）

私は高校時代にウェイトリフティングの経験はなく、昭和56年に当時の教育学部教育学科体育学専修に学士入学し、同時にウェイトリフティング部に入部しました。当時は関根吉郎部長、加藤清忠監督、平原孝二コーチでした。加藤清忠監督および平原孝二コーチには、色々とお迷惑をおかけし、大変お世話になったことをこの場を借りてお礼を申し上げます。また、大沼賢治先生（当時は語学研究所所長）、窪田登先生（当時は体育局長）の両先輩のご指導に、心よりお礼を申し上げたいと思います。4年間ウェイトリフティング部に在籍する中で、活躍することが全くなかった自分ですが、何を勘違いしたのか、二人の偉大なる先輩に「どうしたらウェイトリフティングが強くなるか」をお伺いしたことがありました。その時、局長室におられた窪田先生は、一言「ダッシュをやることだ。短い距離でいいからダッシュをやりなさい」と、優しい目の中にもキラッと輝くものを感じ取ることができました。また、所長室におられた大沼先生は、一言「早朝、スクワットをやることだ。朝、背筋がフレッシュのうちにやることだ」という教えをいただきました。大沼先生のフレッシュという言葉と笑いながら話をしてくれたことを昨日のこのように思い出すことができます。

今現在、ウェイトリフティング強化のための方法や技術論はかなり進んでいますが、このお二方からいただいた「ダッシュ」と「スクワット」という単純明快な哲理に勝るものは何もないと思います。おかげさまで、先ほど紹介した花井君も、この「ダッシュ」と「スクワット」で強くなりました。今現在、日曜を除く毎日、朝6時半のスクワットから練習が始まります。生徒たちは朝早い時間によく学校に来ると思いますが、自分も4時過ぎに起きなければなりません。日々の睡眠時間は修行僧のようで、毎日4時間くらいですが、もう体は慣れました。一日一日と生徒たちが強くなる姿を見ていると、心から喜びが沸き起こってきます。私も健康維持のために、一緒に体を動かしています。スナッチ、ジャーク、スクワット等では花井君にはかないません。花井君は20kgプレートをつけて懸垂を楽に10回こなしてしまいます。自分は4回でギブアップです。

私事で話が長くなって申し訳ございませんでした。早稲田大学ウェイトリフティング部に在籍できたことは、自分の人生で何のものにも替えることができない大変貴重な時間だったと、皆様方に感謝を申し上げたいと思います。改めて、大沼賢治、窪田登、両先輩に深甚なる謝意を表し、そして、ウェイトリフティング部のOB/OG一同ならびに現役選手一同のご健康とご発展を祈念して、結びの言葉に代えさせていただきたいと思ひます。

杉崎泰弘（S59卒）

計

7月、昭和34年卒・岩上泰久先輩が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

8月、昭和35年卒・村田秀臣先輩が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

報

9月、平成11年卒・吉田光志先輩が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

競技会成績

2014年度 第42回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会

7月5日～7月6日 上尾スポーツ総合センター



団体戦 3位!

菅野真央 (社3) 105kg級 2位
 神谷勇斗 (ス4) 69kg級 3位
 生頼佑馬 (ス3) 77kg級 3位
 伊藤大永 (ス4) 85kg級 3位



階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL		得点
				S	順位	J	順位	記録	順位	
56kg級	千葉健介	社1	55.9	88	7	111	8	199	8	4
69kg級	神谷勇斗	ス4	68.8	113	3	146	3	259	3	15
77kg級	生頼佑馬	ス3	71.3	123	4	152	3	275	3	17
85kg級	伊藤大永	ス4	77.8	125	5	160	2	285	3	17
	梶田大和	ス3	80.9	131	1	151	5	282	4	17
94kg級	菊池幹広	社4	85.1	122	4	148	5	270	5	13
105kg級	菅野真央	社3	101	138	1	165	3	303	2	21
+105kg級	武田健	ス2	108	120	6	171	4	291	4	13

2014年度 第38回東日本学生ウエイトリフティング選手権大会

2014年度 第11回東日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会

9月13日～15日 日大生物資源科学部体育館

個人戦

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M77kg級	松本浩志	ス3	72.14	113	2	142	3	255	2
M94kg級	堀井勇也	社4	91.18	0	-	151	4	0	-
W48kg級	鎌倉典子	ス4	44.5	36	2	49	2	85	2
W63kg級	野本なつみ	ス2	60.4	68	1	77	2	145	2
W75kg級	小町史華	ス3	66.54	69	2	83	3	152	3

新人戦

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	森川芳樹	ス1	58.88	90	3	124	1	214	優勝
	千葉健介	社1	60.84	92	2	121	2	213	3
M77kg級	生頼永人	ス1	70.58	127	1	165	1	292 大会新	優勝
M85kg級	藤本雅大	ス2	81.62	113	4	129	6	242	5
W58kg級	内門沙綾	ス1	56.74	68	1	84	1	152	優勝

探球会&バーベル会

昭和34年卒・林毅先輩に、「探球会」と「バーベル会」の発足趣旨や活動状況などについて執筆をお願いしました。

牛島貞夫先輩（S33卒）の命名で発足した「探球会」は、同好の士が集って昭和57年5月に青梅カントリークラブで第1回のコンペを開催して以来、回を重ねる中で先輩後輩の枠を超えて学生時代に思いを馳せ、和気藹々のうちに会員同士の親睦を図ることが出来た。会員数も一時は30名を超えて盛大にコンペを重ねていたが、仕事の都合で転勤される方や都合で参加できない方もいて徐々に参加されるメンバーが減少し、会員の老齢化も進んで、牛島会長を中心に進めていた探球会も転機を迎える時期に来ていた。四半世紀の時が過ぎ、牛島会長の齢80を期に、コンペの回数も64回を迎えた平成21年末を以て探球会を一時中断した。牛島先輩の探球会への思いは、第1回以来64回を通して皆出席であったことがそのことを物語っている。（皆出席は牛島先輩だけでした）

牛島先輩が会長を退いた後、一時中断していた探球会は牛島先輩の意思を継いで、現在田口薫君（S42卒）に会長代行をお願いして、初代幹事葉坂仁司君（S40卒）、岩永勉君（S47卒）を経て小生が引き受けていた幹事役もバトンタッチして探球会を続けることになった。再出発した探球会のメンバーは最年長の竹林正佳先輩（S33卒）を始め、足立恒雄元部長、林毅、古川雍夫君（S35卒）、山田繁君（S35卒）、田口薫君、内村正月君（S44卒）、山内俊夫君（S44卒）、村岡芳彦君（S44卒）、坂本知之君（S45卒）、高橋明君（S46卒）、正木隆至君（S48卒）、岡田文男君（S49卒）、以上です。

「バーベル会」は、牛島先輩、故酒井延幸先輩が学生時代に培った友情から、重量拳三田会のOBの方々と相談して「ゴルフを通じてOB同士の親睦を図ることと現役定期戦を支援すること」を趣旨として始まった。当初は名称も「早慶重量拳OB懇親ゴルフ会」としてスタートしたが、当番校が替わる度に頭の文字が替わるのは好ましくないとのことから、双方で持ち寄った案の中から共通のネーミングに相応しい「バーベル会」を選定し、変更した。双方12名ずつエントリーしての対抗戦は団体戦と個人戦で競うことになり、1989年に利根ゴルフクラブで第1回を開催して以来、途中1年中断したが今年で25回目を迎える。バーベル会の早稲田側の世話役も田口薫君にお願いしている。24回を終って稲門ウエイトリフティングクラブの戦績は、13勝11敗である。（戦績は以下のとおり）

林毅（S34卒）

バーベル会（早慶重量拳OB懇親ゴルフ会）戦績

	開催年月日	幹事校	開催コース	団体戦優勝	個人戦優勝
第1回	1989. 11. 22	W	利根ゴルフクラブ	重量拳三田会	氏名不詳
第2回	1990. 10.	K	オークヒルズカントリークラブ	重量拳三田会	村岡 芳彦(W)
第3回	1991. 11. 04	W	皆川城カントリークラブ	稲門ウエイトリフティング	鈴木 幸男(K)
第4回	1992. 10. 01	K	レイク相模カントリークラブ	重量拳三田会	小石 哲也(K)
第5回	1993. 9. 21	W	武蔵カントリー倶楽部(笹井)	稲門ウエイトリフティング	牛島 貞夫(W)
第6回	1994. 9. 21	K	東京ゴルフ倶楽部	重量拳三田会	酒井 忠和(K)
第7回	1995. 9. 27	W	武蔵カントリー倶楽部(豊岡)	稲門ウエイトリフティング	辻 正人(K)
第8回	1996. 9. 27	K	高麗川カントリークラブ	稲門ウエイトリフティング	葉坂 仁司(W)
第9回	1997. 9. 18	W	よみうりゴルフ倶楽部	重量拳三田会	山中 元(K)
第10回	1998. 9. 10	K	東京ゴルフ倶楽部	稲門ウエイトリフティング	古川 雍夫(W)
第11回	1999. 9. 28	W	桜ヶ丘カントリークラブ	重量拳三田会	辻 正人(K)
第12回	2000. 9. 7	K	オークヒルズカントリークラブ	重量拳三田会	牛島 貞夫(W)
第13回	2001. 9. 13	W	多摩カントリークラブ	稲門ウエイトリフティング	辻 正人(K)
第14回	2002. 9. 12	K	レイク相模カントリークラブ	重量拳三田会	鈴木 幸男(K)
第15回	2003. 9. 16	W	グレンオークスカントリークラブ	稲門ウエイトリフティング	渡邊 兼光(W)
第16回	2004. 9. 9	K	埼玉ロイヤルGCおごせコース	重量拳三田会	鈴木 宏侑(K)
第17回	2005. 9. 14	W	霞ヶ浦国際ゴルフコース	稲門ウエイトリフティング	小石 哲也(K)
第18回	2006. 9. 13	K	やさと国際ゴルフ倶楽部	稲門ウエイトリフティング	高梨 啓史(K)
第19回	2007. 9. 13	W	武蔵カントリー倶楽部(豊岡)	重量拳三田会	内村 正月(W)
第20回	2008. 9. 10	K	やさと国際ゴルフ倶楽部	重量拳三田会	竹林 正佳(W)
第21回	2010. 10. 29	W	埼玉ロイヤルGCおごせコース	稲門ウエイトリフティング	山内 俊夫(W)
第22回	2011. 9. 14	K	やさと国際ゴルフ倶楽部	稲門ウエイトリフティング	田口 薫(W)
第23回	2012. 9. 27	W	埼玉ロイヤルGCおごせコース	稲門ウエイトリフティング	渡辺 和義(K)
第24回	2013. 9. 26	K	やさと国際ゴルフ倶楽部	稲門ウエイトリフティング	渡辺 和義(K)

(団体戦優勝 = 上位5名グロス・トータルスコアによる / 個人戦優勝 = 新ペリア方式による)

オフィシャルジャンパー&タオル申込受付中！

先輩の皆様には、日頃より部の支援ならびに本会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、このたび11月の男子インカレ2部大阪遠征を支援するため、部と協同で早稲田大学ウェイトリフティング部のロゴ入りジャンパーおよびタオルを制作し、OB/OG向けに助成金付販売を実施する運びとなりました。

また、新たに世界大学選手権(12月/タイ)に2名、日韓中フレンドシップ(11月/茨城)に1名の代表選手派遣が決まり、国際競技会出場選手に対する追加の支援も併せて対応したいと存じます。

つきましては、皆様ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。

ジャンパー

<前面>



<背面>



- ・サイズ： M / L / X L
- ・カラー： ブラックで統一
- ・助成金付販売価格： 1着 5,500円

<前面ロゴ>



<背面ロゴ>



タオル



- ・カラー： レッド / ブラック / ネイビー / グリーン / オレンジ
- ・大きさ： 34cm×84cm
- ・助成金付販売価格： 1枚 2,500円
- ※ 2枚以上にてお申込み願います。

【お申込み方法】

ご希望商品、カラー/サイズ/数量/受取方法(右記)をご連絡ください。

[申込連絡先]

①OB係 小町/野本

E-mail: wasedawlhp@gmail.com

TEL/FAX: 03-3202-1090 (部室)

②幹事長 野中(H01)

E-mail: twc@coffee.ocn.ne.jp

[申込受付期限]

2014年11月3日まで

【お支払い/受取方法】

以下のいずれかにてお願いいたします。

- ① 下記口座へ代金 + 送料(配送先1件につき800円)をお振込み、入金確認後に商品を送送
- ② 部室にて代金(現金)と引き換えに商品をお受け取り

商品の発送/お渡しは、11月下旬を予定しています。

【振込先口座】

みずほ銀行 新宿新都心支店

普通 8220922

受取人名： トウモンウエイトリフティングクラブ

なお、同時に部遠征補助等助成金のみの協賛も承ります。皆様のご協力をお願いいたします。

[協賛額] 一口 5,000円 * 5,000円以上1,000円単位でありがたくお受けいたします。

[振込先口座] 同上

※ 部遠征補助等助成金の協賛はOB/OGが対象です。部員のご家族の皆様にはご心配いただきませんようお願いいたします。